

厚生委員会情報連絡

令和4年11月11日

情報連絡事項	頁
1 熱中症対策の取組み結果について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 令和3年度ジェネリック医薬品使用率について・・・・・・・・	5
3 元気な職場づくり応援事業（健康経営）における 支援事業所の取組み及び成果について・・・・・・・・	7

(衛 生 部)

厚生委員会情報連絡一覧表

令和4年11月11日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法																								
<p>1 熱中症対策の 取組み結果に ついて</p> <p>所管課 【衛生管理課】</p>	<p>1 庁内会議の開催について</p> <p>(1) 足立区熱中症対策調整会議</p> <p>第1回 令和4年4月27日(水) 令和4年度の取組み内容の確認</p> <p>第2回 令和4年11月14日(月)(予定) 令和4年度の取組み結果の報告</p> <p>2 熱中症対策について</p> <p>(1) 区民への情報提供と注意喚起</p> <p>ア あだち広報・区ホームページ</p> <p>5月25日号に「熱中症予防×コロナ感染防止」を掲載し、コロナ禍における熱中症への注意喚起を行った。</p> <p>また、区ホームページに熱中症予防のポイント等を掲載した。</p> <p>イ A-メール配信</p> <p>環境省熱中症予防情報サイトの暑さ指数(WBGT)速報において、当日の予報及び実測値が危険水準(WBGT31度以上)に達した際に、「夏の重要なお知らせ」登録者に対してA-メールを配信した。</p> <p>【参考】</p> <p>A-メール配信回数(暑さ指数速報の<u>実測値</u>が危険水準(WBGT31度以上)に達した回数)</p> <table border="1" data-bbox="555 1608 1169 1812"> <thead> <tr> <th></th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>24回</td> <td>4回</td> <td>29回</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>0回</td> <td>8回</td> <td>15回</td> <td>0回</td> <td>23回</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>6回</td> <td>13回</td> <td>15回</td> <td>1回</td> <td>35回</td> </tr> </tbody> </table>		6月	7月	8月	9月	合計	R2年度	0回	1回	24回	4回	29回	R3年度	0回	8回	15回	0回	23回	R4年度	6回	13回	15回	1回	35回		
	6月	7月	8月	9月	合計																						
R2年度	0回	1回	24回	4回	29回																						
R3年度	0回	8回	15回	0回	23回																						
R4年度	6回	13回	15回	1回	35回																						

厚生委員会情報連絡一覧表

令和4年11月11日

	<p>ウ 防災行政無線放送</p> <p>夜間の熱中症を未然に防ぐため、6月30日から8月31日までは毎日、また9月以降の残暑に備えて9月1日から16日の平日については、午後2時までに暑さ指数速報の実測値が危険水準（WBGT31度以上）に達した場合に、当日の夕焼け放送後に注意喚起放送を流す体制を整えていた。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスの感染者が増加したため、7月20日から9月8日までは「熱中症予防×コロナ感染防止」の内容で毎日放送を行った。</p> <p>※ 9月9日以降、危険水準に達した日なかったため、放送は行っていない。</p> <p>エ 大塚製薬（株）との熱中症対策に関する連携協定に基づく取り組み</p> <p>中学生を対象に熱中症対策セミナー、また大学生、スポーツ指導員を対象に熱中症対策アドバイザー養成講座を実施した。</p> <p>オ その他</p> <p>6月2日に東京女子医科大学附属足立医療センター救命救急センターから、「夜間、自宅でエアコン未使用の患者が搬送された事例あり」との情報提供を受け、啓発チラシ・ポスター『危ない！夜中の熱中症。』を作成するとともに、区ホームページやA-メールでの注意喚起を行った。</p> <p>(2) 熱中症による被害状況</p> <p>ア 足立区内救急搬送人員数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年</td> <td>39人</td> <td>25人</td> <td>294人</td> <td>34人</td> <td>392人</td> </tr> <tr> <td>R3年</td> <td>14人</td> <td>87人</td> <td>89人</td> <td>5人</td> <td>195人</td> </tr> <tr> <td>R4年</td> <td>108人</td> <td>155人</td> <td>105人</td> <td>8人</td> <td>376人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R4年は速報値、その他は確定値</p>		6月	7月	8月	9月	合計	R2年	39人	25人	294人	34人	392人	R3年	14人	87人	89人	5人	195人	R4年	108人	155人	105人	8人	376人		
	6月	7月	8月	9月	合計																						
R2年	39人	25人	294人	34人	392人																						
R3年	14人	87人	89人	5人	195人																						
R4年	108人	155人	105人	8人	376人																						

厚生委員会情報連絡一覧表

令和4年11月11日

イ 足立区内死亡者状況 (ア) 死亡者数

年代	R2年		R3年		R4年 (9月末)		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
50代	3人	0人	0人	0人	1人	0人	4人	0人
60代	3人	1人	0人	0人	2人	0人	5人	1人
70代	3人	3人	0人	0人	2人	3人	5人	6人
80代	1人	2人	1人	0人	4人	0人	6人	2人
90代	1人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	1人
小計	11人	6人	1人	0人	9人	4人	21人	10人
計	17人		1人		13人		31人	

※ R3、4年は速報値、その他は確定値

(イ) クーラー有無

	有	無	不明	計
R2年	7人 (6人)	10人	0人	17人
R3年	1人 (1人)	0人	0人	1人
R4年	8人 (8人)	3人	2人	13人
	60代(男) 1 70代(男) 2 80代(男) 2 70代(女) 3	80代(男) 2 90代(女) 1	50代(男) 1 60代(男) 1	

※ () 内はクーラー未使用者の人数

厚生委員会情報連絡一覧表

令和4年11月11日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法																
<p>2 令和3年度ジェネリック医薬品使用率について</p> <p>所管課 【データヘルス推進課、国民健康保険課、高齢医療・年金課、生活保護指導課】</p>	<p>厚生労働省から令和3年度の全国市区町村別ジェネリック医薬品使用状況が公表された。</p> <p>1 足立区ジェネリック医薬品使用率 82.4%（令和4年3月） 23区で第2位（第1位は江戸川区で83.4%） ※ 令和4年9月16日 厚生労働省発表「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」 ※ 自治体内に所在する薬局のデータを集計</p> <p>2 使用率の推移 国が掲げる目標値80%を超えており、全国（82.1%）及び東京都（78.5%）の使用率を上回っている。</p> <div data-bbox="497 1025 1064 1417" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>ジェネリック医薬品使用率の推移</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都</td> <td>76.6%</td> <td>78.4%</td> <td>78.5%</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>81.1%</td> <td>82.3%</td> <td>82.4%</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>80.4%</td> <td>82.1%</td> <td>82.1%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>3 保険別の使用率（令和4年3月） (1) 国民健康保険 78.6% (78.3%) (2) 後期高齢者医療制度 78.1% (78.0%) (3) 生活保護医療扶助 81.5% (88.3%) ※ 括弧内は令和3年3月の使用率 ※ 各制度が保有するレセプト情報を集計</p>	区分	R01	R02	R03	都	76.6%	78.4%	78.5%	区	81.1%	82.3%	82.4%	国	80.4%	82.1%	82.1%		
区分	R01	R02	R03																
都	76.6%	78.4%	78.5%																
区	81.1%	82.3%	82.4%																
国	80.4%	82.1%	82.1%																

厚生委員会情報連絡一覧表

令和4年11月11日

	<p>4 削減効果額の推計（令和3年度）</p> <p>(1) 国民健康保険 約12億7,557万円</p> <ul style="list-style-type: none">・ 区（7割負担）約8億9,290万円・ 区民（3割負担）約3億8,267万円 <p>(2) 生活保護医療扶助 約9億4,286万円</p> <p>※ 使用されたジェネリック医薬品がすべて先発医薬品だった場合の金額との差を推計</p> <p>5 ジェネリック医薬品普及啓発の取組み</p> <p>(1) ジェネリック医薬品普及協議会の開催</p> <p>※ 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から未開催</p> <p>(2) 更なる使用率の向上に向けて、足立区薬剤師会と協議</p> <p>(3) ジェネリック医薬品利用差額通知の送付</p> <p>(4) ジェネリック医薬品希望シール・パンフレット等の配布</p> <p>(5) 国保だより、あだち長寿医療だより、足立区ホームページ、SNS、区内薬局等での利用促進PR</p>		
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

厚生委員会情報連絡一覧表

令和4年11月11日

件 名	内 容	日時及び 場所	P R の 方法
<p>3 元気な職場づくり応援事業（健康経営）における支援事業所の取り組み及び成果について</p> <p>所管課 【こころとからだの健康づくり課】</p>	<p>「元気な職場づくり応援事業」について、現在支援中の5事業所が今年度で支援満了となるため、これまでの取り組み及び成果等を連絡する。</p> <p>1 対象事業所及び支援開始年度</p> <p>(1) 株式会社オレンジアーチ (令和元年度) (2) 内田建設株式会社 (令和2年度) (3) 日日交通株式会社 (令和2年度) (4) 日商印刷株式会社 (令和2年度) (5) 株式会社樋口物流サービス関東支店 (令和2年度)</p> <p>2 取り組み及び成果</p> <p>(1) 共通の取り組み ア 生活習慣に関するアンケート調査 イ 定期健康診断結果データ分析 ウ 推定野菜摂取量測定器による測定会</p> <p>(2) 事業所独自の取り組み 別紙「取り組み及び成果（概要）」のとおり</p> <p>(3) 取組成果 別紙「取り組み及び成果（概要）」のとおり</p> <p>3 今後の予定及び方針</p> <p>支援満了後の令和5年度も各事業所が従業員の健康づくりを継続して実施できるよう、学術機関などの助言を得ながらフォローを行っていく。 新型コロナウイルス感染拡大に留意しながら、今年度中に新たに5事業所の支援を開始する。</p> <p><新規事業所募集スケジュール案></p> <p>(1) 令和4年12月中旬から 事業所募集 (2) 令和5年1月末まで 募集締切 (3) 令和5年2月末まで 選考、決定通知 發送 (4) 令和5年3月から 支援開始</p>		

元氣な職場づくり応援事業（健康経営）における取組み及び成果（概要）

事業所概要	各事業所独自の主な取組み・成果
株式会社オレンジアーチ (モデル事業所) 【支援期間】 R1～R4 【事業内容】 ソフトウェア業 【従業員数】 151名 【所在地】 千住一丁目	【取組】 <ul style="list-style-type: none"> 本社で区保健師等が実演したストレッチを事業所が撮影し、社内イントラネットで動画配信 本社近くの健康器具のある区立公園を紹介 簡単レシピやコンビニでの食事の選び方を情報提供し、社内イントラネットで情報配信 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 食生活の健康リスク(6ポイント)などが支援開始前より改善した。 測定会の実施などにより、食生活などを意識する社員が増えた。
内田建設株式会社 【支援期間】 R2～R4 【事業内容】 建設業 【従業員数】 23名 【所在地】 竹の塚五丁目	【取組】 <ul style="list-style-type: none"> 事業所へ体組成計及び血圧計を貸与し、定期的に測定を実施(区から記録表を提供、事業所による測定結果のデータ化) 事業所へ健康情報を提供し、それを基に令和3年2月から社内報による情報発信を定期的実施 塩分チェックシート及び塩分チェッカー(塩分濃度測定)の実施 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 血圧測定などを自主的に行うなど、社員の健康意識が向上した。 加入している都土木建築健康保険組合の銀の認定(健康優良企業)を取得できた。
日日交通株式会社 【支援期間】 R2～R4 【事業内容】 運送業 【従業員数】 195名 【所在地】 保木間一丁目	【取組】 <ul style="list-style-type: none"> 保健センターが新規作成した4種類のDVD(ストレッチ、野菜摂取など)を事業所へ貸与し、業務日報を記入する事務室内で放映 事業所へ体組成計を貸与し、出勤時の測定を毎日実施(記録表の提供、測定結果のデータ化、結果に対して区保健師によるコメントを付けて返却) 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 出勤時など仕事の動線上で体重測定を毎日実施するなど取り組んだ結果、定期健康診断での肥満割合が前年より5%低下した。
日商印刷株式会社 【支援期間】 R2～R4 【事業内容】 印刷業 【従業員数】 37名 【所在地】 宮城一丁目	【取組】 <ul style="list-style-type: none"> 喫煙所を不便な場所に移設するなどの利用についての助言や提案(喫煙所の扉に禁煙を促す標語の掲示を実施) 区禁煙助成事業の紹介(チラシ、禁煙外来医療機関一覧の配付) 区から食事に関するポスターなど健康情報を定期的に提供し、食堂内に新たに設置した健康情報コーナー(ホワイトボード)へ掲示 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 健康情報コーナーの設置などにより、喫煙者の減少が見られ、パート従業員も含めて、少しずつではあるが健康意識が向上した。
株式会社樋口物流サービス 関東支店 【支援期間】 R2～R4 【事業内容】 運送業 【従業員数】 65名 【所在地】 堀之内二丁目	【取組】 <ul style="list-style-type: none"> 事業所へ体組成計及び血圧計を貸与し、測定を毎日実施(記録表の提供、測定結果のデータ化、結果に対して区保健師によるコメントを付けて返却) 区から提供された健康情報を基に、毎月末に社内報を発行し全社員へ配付 【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の健康リスク(2.7ポイント)などが前年より改善した。 健康情報を含む社内報の発行により、社員の健康意識が向上した。

※従業員数は、応募申込時の人数